番組研究委員会 実践レポート

B 小社 1

1 提案者 新藤哲平（上田市立川辺小学校）

2 提案内容

(1) 単元名 「徳川家康と江戸幕府」

(2) 利用した番組名 「歴史にドキリ」

(3) 授業のねらい

徳川家康が江戸幕府の基礎を固めるために行った「戦い」「まちづくり」について、番組を視聴したり、教科書や資料集を読んだりして調べることを通して、徳川家康のめざした政治やその取り組みを理解することができる。

(4) 授業の実践記録

段階	学習活動	児童・生徒のようす	指導・助言	備考
導入 展開 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 徳川家康について知っていることを発表した。 番組を視聴した。 ドキリポイント①と②に分かれて、徳川家康の取り組みを調べた。 調べたことを発表し、内容を関連づけてまとめていった。 ふりかえりを書いた。 	<p>「徳川家康だ」、「江戸幕府を開いた人だ」と発言していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ばんぐみ」を停止しながら、繰り返し視聴していた。 キーワード検索をして、関連する番組やクリップを探して視聴していた。 「関ヶ原の戦い」「大阪の陣」「手紙を送る」「作戦がすごい」「埋め立て」「城下町」「大都市」などの言葉が挙がった。 家康の目指す世の中では、迷う児童も多かったが「平和な世の中」と書けていた。 家康の行った戦いやまちづくりに触れながら、自分の考えを書いていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 徳川家康の人物画を掲示して、だれか、何をしたのか等を問いかけた。 調べたことをワークシートに記入するようにした。 ドキリポイントで分けて、対比させながら板書した。 ワークシートに自分の考えを記入するようにした。 	教科書、資料集、番組クリップなどで調べる

(5) 考察

- ドキリポイントや番組を視聴して出てきた問いについて、自分なりの課題を選んで調べていたので、主体的な学びの姿があった。
- 自分のタイミングで番組を止めたり、もどったりしながらメモをとっていたので、主体的な学びの姿があった。
- 最後に自分の考えを書く場面で、時間が足りなくなってしまった。この授業展開に慣れたり、単元計画を見直したりして、調べたことを交流する場面や自分で考えをまとめる場面を確保できると、より対話的で深い学びの姿が見られるだろうと感じた。
- 番組の「教材・資料」がどれくらい活用できるのか試してみたが、児童は徳川家康の政治や取り組みについて理解することができていたので、今後も活用していきたい。

(6) 番組への要望